



2月25日(土)～27日(月)

## 700人が訪れた 食と芸術の祭典 二部地区恒例「たたらまつり」開催

**毎**

年恒例、二部地区の文化祭「たたらまつり」が二部公民館で開催され、2月25日から27日の3日間で、約700人が訪れました。

会場では、二部地区の農産物と加工品の販売が行われたほか、地元野菜をふんだんに使ったきのこ汁やぜんざいが振る舞われました。また、作品展示も行われ、公民館教室や同好会の絵手紙や生け花、地域住民の手工芸品などが会場いっぱいになされました。

なかでも来場者の目を引いていたのは、特別展「二部谷の昔のくらし」です。たたらまつりは、郷土の歴史をテーマに、毎年趣向を凝らした特別展示を行っており、これを楽しみに足を運ぶ人も多くいます。

今回は、蓄音機や灯油ランプ、かすりの着物など、今では見ることも少なくなった昔なつかしい道具や日用品など、当時がしのばれる品々が数多く展示されました。特別展に訪れた人たちは、めったに見ることができない貴重な作品を熱心に鑑賞していました。



▲力作ぞろいの作品展示



▲特別展示を楽しむ来場者

2月28日(火)

## 毎日コッコソッコ健康づくり29人を表彰 健康ポイント100P達成者表彰式

**町** の健康事業や町内プールを利用して、1年間で健康ポイント

100ポイント以上貯めた人を対象にした「健康ポイント100ポイント達成者表彰式」が2月28日(火)、岸本保健福祉センターで行われました。

健康ポイントは、町の健康診断やウォーキングなどの健康づくり事業に参加したり、ゆうあいパルやB&Gのプールを利用したりするともらえます。この制度は、楽しみながら健康づくりを続けてもらうことを目的に、平成24年度から始まりました。

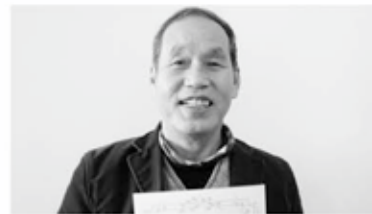
今回は、平成28年1月～12月の1年間で、100ポイント以上貯めた29人に、表彰状と副賞が贈られました。

受賞者の久木彬弘さん(71)は、

「2、3日に1回、水中ウォーキングをしている。今年の健診は約8年ぶりに血糖値が正常値になった。足腰も良くなり、少ない運動時間でも成果が出てうれしい」と、金田佳建さん(75)は、「まめまめクラブやさわやか歩キングなど、町の健康事業や温泉プールを利用して、疲れなくなりました。つまずかなくなりました」と話し、健康ポイントをきっかけとして、身体によい効果が出ているようです。



▲100P達成者は昨年から10人も増加



▲水中ウォーキングで血糖値が下がったと喜ぶ久木彬弘さん

3月3日(金)

## 国際理解教室in伯耆町

**日** 本の文化を学んでいるベトナム人を講師に迎えた「国際理解教室」が3月3日(金)八郷小学校で開催されました。

この教室は、公益財団法人CIESEFが発展途上国の文化を日本の子どもたちに広め理解してもらう目的で開催したものです。この日は、ベトナム人講師からベトナムの言語、文化、食事などの話を聞いたり、ベトナムのゲームや歌と一緒に楽しんだりしました。

児童からは「ベトナムに行ってみよう」「もっと知りたい」との感想があり、海外に対する興味・関心がさらに広がっているようでした。

八郷小学校では、毎年、国際理解教室を開催し、児童の海外に対する興味や関心を深める活動を授業に取り入れています。授業当日のあいさつを児童が分擔するなど授業に積極的に関わり、ベトナム文化に触れる有意義な時間を過ごしていました。



▲ベトナム人講師の自己紹介。授業はすべて日本語で行われました。